

リサイクル

事業名

民間向け

脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業のうち、代替素材である紙、バイオ・生分解性プラ（再生可能資源）への転換・社会実装化支援

## プラスチック等の代替素材の低コスト化等の技術を実証します。

委託・補助対象者



民間団体等

募集時期

平成31年3月頃、4月頃  
(予定)

委託・補助対象

プラスチックの代替素材への切り替えに向けた技術実証

委託内容

実証に係る費用

補助内容

実証に係る費用の1/2以下（上限）を支援

事業イメージ

②リサイクルが困難なプラスチック等の代替素材の生産・リサイクルの省CO2システム構築実証

海外輸出

単純焼却・埋立て

国内循環に移行

プラスチック原料

リサイクル

廃プラスチック

プラスチック素材等  
(製品・容器包装)

再生可能資源等

代替

原油  
(ナフサ)

このような民間団体におすすめします。



・プラスチック等の代替素材の実用化、低コスト化等の技術開発をしたい。 etc.

ぜひご検討ください

リサイクル

事業名

民間向け

脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業のうち、  
プラスチック等のリサイクルプロセス構築・省CO2化支援

## プラスチックリサイクルの低コスト化を支援します。

補助対象者



民間団体等

募集時期

平成31年4月頃（予定）

補助対象

プラスチックの  
リサイクル技術の  
低コスト化等  
に向けた技術実証

補助内容

実証に係る費用の  
1/2以下（上限）を支援

事業イメージ

①プラスチック等の  
リサイクルプロセス  
省CO2化実証

海外輸出

単純焼却  
・埋立て

国内循環に移行

プラスチック  
原料

リサイクル

廃  
プラスチック

プラスチック  
素材等  
(製品・  
容器包装)

再生可能  
資源等

代替

原油  
(ナフサ)

このような  
民間団体  
におすすめします。



・プラスチックのリサイクルの低コスト化をはかりたい。 etc.

ぜひ  
ご検討  
ください



## 背景・目的

- **世界的課題**である海洋プラスチック問題、資源・廃棄物制約、地球温暖化対策等の観点から、**プラスチックの3Rや再生可能資源への転換が求められる。**
- さらに、中国や東南アジアによる禁輸措置が実施・拡大中であり、大量の廃プラスチックの国内滞留が深刻化し、焼却・埋立量や処理コストも増加。不法投棄・不適正処理も懸念され社会問題化。
- こうした構造的な課題を乗り越え、かつ、イノベーションやライフスタイル変革を通じて新たなグリーン成長を実現するためには、従来型のプラスチック利用を段階的に改め、石油資源由来の素材から紙、**バイオ・生分解性プラスチック等の再生可能資源への転換**を図っていくとともに、**使用済みの廃プラスチック等の省CO2リサイクルシステムを構築**することが不可欠。
- このため、新たに策定する「プラスチック資源循環戦略」に基づき①**代替素材である再生可能資源への転換・社会実装化**、②**使用済素材のリサイクルプロセス構築・省CO2化**を強力に後押しし、**低炭素社会構築に資する国内資源循環システム構築**を加速化する。

## 事業概要

### ①代替素材である紙、バイオ・生分解性プラ（再生可能資源）への転換・社会実装化支援

紙、バイオ・生分解性プラスチック等のプラスチック代替素材の省CO2型生産インフラ整備・技術実証を強力に支援し、再生可能資源への転換・社会実装化を図る。

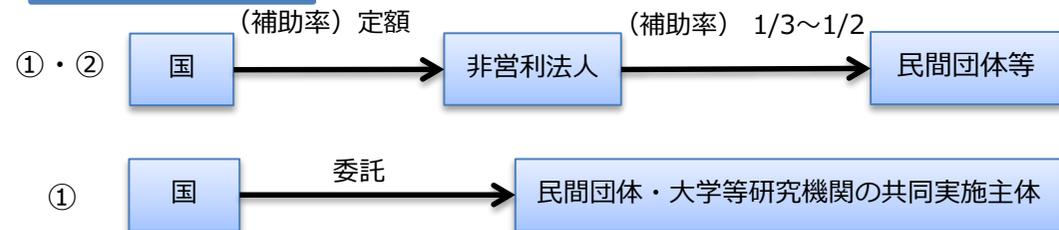
### ②プラスチック等のリサイクルプロセス構築・省CO2化支援

複合素材プラスチックなどのリサイクル困難素材のリサイクル技術・設備導入を強力に支援し、使用済素材リサイクルプロセス構築・省CO2化を推進。

## 期待される効果

- プラスチック資源循環戦略に掲げるマイルストーンの達成（ワンウェイプラスチック排出抑制、容器包装リサイクル、使用済プラスチック全体の資源有効利用、再生素材利用、バイオマスプラ導入）
- 資源循環関連産業の発展を通じた**経済成長・雇用創出**（新たな成長の源泉）

## 事業スキーム



実施期間：平成31(2019)～35年度(2023年度)

## イメージ

